

第5章 環境学習・啓発活動等

1 環境ひろばと市の共催事業

(1) 第20回環境シンポジウムの開催

市民と環境問題について考える機会として、国分寺市環境ひろばと共催により環境シンポジウムを開催しました。

基調講演：～東京の緑の骨格軸～「国分寺崖線」をめぐる生物多様性向上の取り組み

講師：NPO法人Green Connection TOKYO 代表理事 佐藤 留美 氏

市内での取組紹介：リオンの地域環境、生物多様性の保全活動に関する事例紹介

講師：リオン株式会社 微粒子計測器事業部 事業戦略室 担当課長 大橋 勇貴 氏

日時：令和7年3月1日（土）

会場：リオンホール及びオンライン開催

参加者：96人（会場78人、オンライン18人）



(2) 国分寺まつりへの参加

例年、環境基本計画の紹介、国分寺市環境ひろばのPR及び省エネに関する情報提供などを目的に国分寺まつりに参加しています。令和6年度の国分寺まつりでは、自然の力でつくったエネルギーだけで過ごせる「移動式えねこや」体験と、省エネ・再エネをテーマにしたワークショップ等を行い、脱炭素型スタイルの普及啓発を行いました。

また、環境ひろばのブースでは「生きもののクイズ」を実施し、生物多様性について学ぶ機会を創出しました。

2 課別事業一覧

※**協働**…地域の様々な課題を解決していくために、自治の担い手である市民や事業者等と市が共通の目的を設定できる事柄について対等な協力関係の下に、それぞれができることを役割分担し、その実現に向けて協力して取り組むこと。

●防災安全課		
事業名	実施日・参加者数等	事業内容・目的等
井戸端会議の実施	毎月1回実施 (11か所)	地域社会における災害時の生活用水の確保、水と緑を通した都市環境の保全、市民のふれあいの場の確保等を目的として設置した26か所（うち2か所は民間井戸）について市民と協働して維持・管理を行いました。 11か所の井戸について、周辺に住んでいる市民防災推進委員や住民を中心として井戸端会議及びポンプ管理、清掃、簡易水質検査を行い、同時に防災に関する情報交換等を行いました。
市民防災 まちづくり学校 (通算43回目)	11回実施 受講生32人 (修了者22人)	防災都市づくりを総合的に進めるために、市民への防災まちづくりに関する教育、情報の提供を系統的・体系的に行って市民意識の高揚を図ると同時に、地域における市民防災の発展、あるいはまちづくりを自主的に推進するリーダーを養成することを目的としています。 修了者数累計1,530人 令和6年度修了者のうちから市民防災推進委員を15人認定しました。認定者数累計1,372人
協働 イザ！ カエルキャラバン！	10月6日（日）に都立武蔵国分寺公園内で防災フェスタを開催し、市民防災推進委員の協力を得て、イザ！カエルキャラバン！を実施しました。	

●経 済 課		
事 業 名	実施日・参加者数等	事 業 内 容・目的 等
市民農業大学	受講生30人 (うち修了生 25 人)	農業者が講師となり、市民が農作物の播種・定植から除草等の圃場管理・収穫まで一連の農作業を体験することによって、農業者と市民の相互理解を促進し、農業と触れ合う市民の裾野を拡大しました。
援農ボランティア推進事業	市民農業大学で「援農ボランティア技術習得講座」を実施	市民農業大学受講生を対象に援農ボランティア技術取得講座を実施し、出席率により25人を東京都の「援農ボランティア」として認定しました。講座は実習（市民農業大学の実習を兼ねる）10単位・座学3単位・体験学習（実務研修含む）3単位を実施し、講座内容の充実を図りました。 平成8～令和6年度に（公財）東京都農林水産振興財団が認定した「援農ボランティア」のうち派遣希望のあった89人を18戸の農家に派遣しました。
市民農園	全3農園 280区画	市民が野菜の栽培を通じて土に親しむとともに、生産の喜びを味わい、市民相互の交流を深め豊かな余暇生活の実現を図りました。
親子農業体験教室	5月～8月 7回実施 参加者10組（20人）	市内在住の小学生親子を対象に、市民農業大学修了生である事業協力員の指導により播種から収穫までを体験しました。
野菜作り体験講習会	11月17日・12月1日 参加者15人	市内在住の中学生以上を対象に、土作りから収穫までの作業を体験しました。

●健康推進課		
事 業 名	実施日・参加者数等	事 業 内 容・目的 等
食育講座	6月22日 参加者21人 8月29日 参加者26人 11月26日 参加者15人 1月31日 参加者4人 2月7日 参加者5人	親子食育講座を2回、大人向け講座を2回実施しました。 （6月22日）親子で作る料理体験会「おいしく作って食べよう」対象は未就学児と保護者 （8月29日）親子で作る料理体験「おいしくて元気になるおやつのおべ方」対象は小学生と保護者 （11月26日）天平メニュー・国分寺ごはん「昔の食生活とバランスのいい食事」 （1月31日）「災害時の備え 健康を維持するために1（講義）」 （2月7日）「災害時の備え 健康を維持するために2（実習）」

●環境経営課		
事業名	実施日・参加者数等	事業内容・目的等
協働 環境ひろば	毎月第3日曜日 (原則)	市民・事業者・市が一堂に会し、環境をテーマに意見交換を行う場として年12回開催するとともに、イベントでの啓発活動、環境シンポジウムを実施しました。
協働 環境シンポジウム	3月1日 参加者数96人 (会場78人、 オンライン18人)	環境ひろばとの共催により、環境に関する講演会を実施しました。 第20回国分寺市環境シンポジウム ・基調講演：～東京の緑の骨格軸～「国分寺崖線」をめぐる生物多様性向上の取組み 講 師：NPO法人Green Connection TOKYO 代表理事 佐藤 留美 氏 ・市内での取組紹介：リオンの地域環境、生物多様性の保活動に関する事例紹介 講 師：リオン株式会社 微粒子計測器事業部 事業戦略室 担当課長 大橋 勇貴 氏 ・市内環境活動団体紹介（パネル展示 6団体）
親子でいっしょに 生きもの観察会	5月18日 参加者数 15組35人 (市内在住の小学生と保護者)	親子で身近な自然や生きものに触れあい、自然に対する興味関心を育むことを目的に、未就学児とその保護者を対象として実施しました。 また、国分寺市環境アドバイザーを招き、身近な緑地等に生息する動植物の紹介と探し方のミニ講座の後、フィールドで生きものを探し、観察を行いました。
地域の間伐材を利用した竹あかり作製ワークショップ 〈竹あかりを作ろう〉	8月25日 参加者数21人 (小学4～6年生)	樹木が健全に育ち、多面的な機能を発揮するためには、間伐を行うことが大切であることを学び、間伐材の有効利用を通じて循環型社会について考えることを目的に実施しました。
太陽光セミナー 〈今、なぜ太陽光発電？ 太陽光発電の基礎～私たちの生活へ〉	9月14日 参加者数18人	国立市と共催で、太陽光発電・蓄電池の有効性や設置から運用・保守について、補助制度等の解説及び相談受付を行いました。
姿見の池アメリカザリガニ捕獲大作戦	9月28日 参加者数 19組38人 (市内在住の小学生と保護者)	外来生物による生態系等に及ぼす被害の軽減や自然に対する興味関心を育むことを目的に、小学生を対象としたアメリカザリガニの捕獲イベントを実施しました。（アメリカザリガニ捕獲数：82匹） また、講師（環境アドバイザー）を招き、外来生物が生態系に及ぼす影響や水辺の生きもののミニ講座の後、アメリカザリガニの捕獲を行い、生物多様性の保全等について学習しました。
環境家計簿 モニター	期間 7月～9月（夏期） 12月～2月（冬期） 参加世帯 合計42世帯	日常生活における環境配慮への意識を高め、省エネ行動を推進するとともに、環境家計簿の普及促進を図るため、環境家計簿モニターを募集しました。モニターから、電気・ガスの使用量及び各世帯で工夫した省エネルギーに関する取組等について報告を受けるとともに、取組結果等を取りまとめ、公表しました。
環境情報 ライブラリー	—	環境に関する図書・資料を閲覧に供するため、令和6年度版環境白書（環境省編集）を配架しました。 庁舎移転（令和7年1月）に伴い、環境情報ライブラリーを廃止しました。

●交通対策課		
事業名	実施日・参加者数等	事業内容・目的等
駅前放置自転車 クリーンキャンペーン	10月22日～10月31日	キャンペーン期間中は、放置自転車の放置防止指導を実施するとともに、放置自転車の撤去回数を通常よりも増やし、撤去活動を強化しました。

●緑と公園課		
事業名	実施日・参加者数等	事業内容・目的等
協働 エックス山等緑地 保全事業	(作業) 毎月第2・3・4金曜日 (会議) 毎年1・4・7・10月 第2金曜日	エックス山等市民協議会と協働して、四半期ごとに1回意見交換を行うとともに、32回（ただし会議日を除く。）西恋ヶ窪緑地において維持管理作業を実施しました。
協働 砂川用水路維持 管理事業	毎月第1月曜日 毎月第2・4土曜日 定例作業	美しい用水の会と協働して、砂川用水のより良い環境維持を目的に、水路ののり面の除草やごみ揚げ清掃、樹木剪定などを実施しました。
協働 姿見の池周辺維持 管理事業	毎月第1・4日曜日 定例作業	緑と自然を育てる会と協働して、姿見の池周辺緑地において、良好な環境保全を目的に水路ののり面の除草、清掃及び草花等の補植・管理を実施しました。
協働 国分寺エリアの 「野川整備計画」 の早期実現の気運 醸成のため「野川 源流スクール」 (自慢できる源流 のまちへ) 開講事 業	第一小学校 12月2日(月) 85人 第三小学校 11月12日(火) 143人 第四小学校 4月23日(火) 147人 第七小学校 5月23日(木) 88人 高校生以上 9月22日(日) 32人 12月14日(土) 20人	国分寺エリアの「野川整備計画」の早期実現の気運醸成のため、市民の方に野川を知っていただくために第一小学校、第三小学校、第四小学校、第七小学校の四年生、高校生以上を対象に野川に関する座学、散策等を学ぶ「野川源流スクール」を実施しました。
エコミュージアム	12月6日 参加者 24人	市内を博物館に見立て、何気なく目にしている自然や生活環境を、歴史や文化・伝統に根ざした視点から、散策しました。市役所新庁舎、東京経済大学新次郎池、姿見の池などを訪れました。
夏休みこども自然 教室(植物編・昆 虫編)	各小学校へお知らせを メール、ホームページ で紹介	西恋ヶ窪樹林地において、植物の説明板の設置を行い、ホームページで紹介しました。

●環境対策課		
事業名	実施日・参加者数等	事業内容・目的等
浅川清流環境組合 可燃ごみ処理施設 見学会	8月1日（木） 参加者 11 人 8月17日（土） 参加者 18 人	日野市に建設された3市（日野市・国分寺市・小金井市）の共同による可燃ごみ焼却処理施設（令和2年4月稼働）の見学を通じ、家庭から排出されるもやせるごみの処理工程等について学び、市民による「ごみの減量・資源化の推進」を図ることを目的として開催しています。
三多摩は一つなり 交流事業	12月14日（土） 参加者 20 人	東京たま広域資源循環組合組織団体が主催する、文化・スポーツ等の事業に、日の出町民が参加し、いずみホールにて音楽鑑賞を行うとともに、廃棄物を搬出する側と搬入される側の理解を深め、円滑な一般廃棄物広域処分事業の推進に寄与するために開催しています。
協働 クリーン運動	11月10日（日） 参加団体68団体 参加者 3,398 人	国分寺市民クリーン運動実行委員会を主体に、自治会、老人会、各種団体等と連携し、ボランティア精神に基づいて自主的に清掃活動を行い、地域環境の向上を図ることを目的としています。 昭和51年に始まった国分寺市民クリーン運動も74回を数え、市民の間に定着し、11月に公共の場所での一斉清掃を実施しました。 平成27年度からひとりでも多くの市民に参加してもらうため、自治会・町内会など団体に加えて、市報や自治会等の集まりでのポスター掲示の依頼、前日の広報車による周知等参加を呼びかけました。

●ごみ減量推進課		
事業名	実施日・参加者数等	事業内容・目的等
協働 3 R 講座	6 月～2 月 6 回 受講生 18 人 (修了者 15 人)	市のごみ処理、リサイクルの現状について理解を深め、市と市民が協働して地域のごみ問題を解決するために、ボランティアリーダーの育成を目的とした 3 R 講座を実施しました。 修了者のうち 9 人を廃棄物減量等推進委員として委嘱しました。
協働 国分寺環境まつり (中止) リサイクル家具販売会&もったいない食器市	12 月 1 日 会場 清掃センター 来場者 約 300 人	国分寺環境まつりは中止しましたが、規模を縮小して廃棄物減量等推進委員会と協働でリユースを目的とした「リサイクル家具販売会・もったいない食器市」を開催しました。公民館等の公共施設に持ち込まれる陶磁器の無料配布や粗大ごみとして出された家具を修理して販売、さらには、たい肥の無料配布や東京都と協働で使用済み食用油の回収と周知、社会福祉協議会による家庭で余っているお米や缶詰等の持ち込みをしてもらうフードドライブを実施し、市民のリサイクル意識向上を図りました。
ごみの分別・ 出し方の啓発	イベント開催 1 回	「リサイクル家具販売会・もったいない食器市」に分別よろず相談所を出店し、市民にごみの分け方・出し方を詳細に説明しました。
	イベント参加 12 回	廃棄物減量等推進委員会と協働で、国分寺まつりや市内公共施設でのイベント・集会等に参加し、市民にごみの分別体験、ごみ減量カルタ、ごみ分別クイズを実施し、市民のごみ分別知識向上を図りました。
	分別出前講座 15 回	市民からの依頼により、ごみや資源物の分別に関する説明会を実施し、市民のごみ分別知識向上を図りました。
	市報掲載 2 回	市報に資源プラスチックの分け方を中心とした特集記事を掲載し、市民に分別と資源化意識の向上を図りました。

●学校指導課		
事業名	実施日・参加者数等	事業内容・目的等
授業における環境学習 浅川清流環境組合 の見学	全市立小学校	社会科副読本「わたしたちの国分寺」にはくらしとごみの単元があり、ごみの出し方、行方、量、再利用等について調べました。また、4年生を対象に浅川清流環境組合への施設見学を実施しました。
科学教室	5年生コース 年間延べ33回実施 参加者88人 6年生コース 年間延べ30回実施 参加者53人	5年生コースでは「光の科学」「親子野外観察」「大気の化学」「水の科学」を、6年生コースでは「植物の科学」「土の科学」「電気の科学」を取り上げ観察や実験を行いました。
ジュニア科学教室 「宇宙の学校」	キッズコース 参加者175組 ファンダメンタルコース 参加者113人	キッズコース 5歳児から小学校2年生を対象 ファンダメンタルコース 小学校3・4年生を対象 宇宙・身の周りの自然や不思議な現象を考え、自然科学をテーマとした実験・工作を行うことで、子どもの好奇心や冒険心を育むことを目的として、配布する科学冊子を用いた家庭学習と3回のスクーリングを実施しました。
学童体験農園	市立第六小学校	農家の指導を受けながら、土づくり、種まきから収穫までの一連の作業を通して、児童に勤労の尊さや喜び、成就感を実感させるとともに協調性を養うことを目的に実施しました。

●社会教育課		
事業名	実施日・参加者数等	事業内容・目的等
青少年地域リーダー講習会	4月～3月（10回） 参加者数30人	子どもから大人までの橋渡し役となり、豊かな地域づくりに貢献できる青少年のリーダー（中学生・高校生等）を育てることを目的としてさまざまな講習会を実施しました。
わんぱく学校	4月～3月（10回） 参加者数40人	子どもたち（小学5・6年生）を対象とし、1年間、デイキャンプや宿泊実習など、多くの体験活動を通じて、感受性や人間性、また協調性を育むことを目的としています。

●ふるさと文化財課		
事業名	開催日・参加者数等	事業内容・目的等
教育7days・東京文化財ウィーク企画事業 「謎ときビンゴ」	10月26日～11月4日 参加者 110人	教育7DAYS 及び東京文化財ウィーク 2024 企画事業の一つとして実施しました。武蔵国分寺跡資料館及び長屋門などにヒントがあるクイズとし、展示物にまつわる9つのクイズをビンゴ形式に答えるものとし、ビンゴの完成数に応じて記念品を贈呈しました。
ふるさと文化財愛護ボランティア養成講座	6月26日・7月10日 7月24日・8月6日 8月27日・9月11日 10月3日 参加者 9人	史跡ガイド・普及ボランティアの2部門のボランティアを募集し、国分寺市の歴史と文化財の保護、ボランティアの活動等についての講義と実習を実施し、修了者を文化財愛護ボランティアとして登録しました。（全7回）
市外文化財めぐり	2月8日 参加者 28人	市民が武蔵国以外の国の古代の遺跡や文化財を見学し、特に国分寺に関する見聞を広めることで、より深く国分寺市の古代や武蔵国分寺を理解し、国分寺市に愛着と誇りをもつことを目的としています。茨城県石岡市の史跡常陸国分寺跡、常陸國總社宮などを訪問しました。
夏休み子どもイベント 「拓本うちわを作ろう」	8月3日・10日 参加者 37人	夏休み子どもプログラムのイベントとして、和紙を瓦の上に置き、クーピーペンシルで文字を浮き上がらせる方法を用いた拓本（乾拓）体験をお鷹の道湧水園内で実施しました。
こくぶんじジュニア歴史検定	2月11日 参加者 9人	市内在住・在学の小学5・6年生を対象に、問題数30（4者択一）で40分間の検定時間を設けて実施しました。参加者全員に認定証を交付しました。
市内文化財めぐり	10月10日 参加者 13人	国分寺の国指定重要文化財「木造薬師如来坐像」の御開帳に合わせ、史跡武蔵国分寺跡周辺をふるさと文化財課職員が案内しました。こくぶんじ観光まちづくり協会と共催で実施（東京文化財ウィーク参加事業）
教育7DAYS・東京文化財ウィーク企画事業 「レプリカをつくろう」	11月3日 参加者 20人	教育7DAYS の一環及び東京文化財ウィーク 2024 企画事業の一つとして実施しました。同時開催の歴史なぞときクイズの参加やボランティアによる資料館案内、レプリカの見本となった遺物の解説などを実施しました。
市民歴史講演会 「古代の交通ルール -古代の人は道のどちら側を歩いたのか?-」	12月8日 参加者 200人	現在の交通制度の成り立ちを皮切りに、絵画資料と文字文献を手掛かりとして、時代を遡りながら古代～現在までの交通ルールとマナーを考える社会史的内容の講演会を開催しました。
子ども向けイベント 「ぬりえひろば」	7月14日 参加人数 533人	子どもたちに国分寺市のまちを好きになってもらうこと、市民の参画意識を高めることをテーマに、国分寺市青年会議所主催のイベントにおいて、武蔵国分寺跡資料館等で展示している遺物等遺跡関係のぬりえを用意し、子どもたちに武蔵国分寺を楽しむながら知るきっかけを提供しました。
ゴールデンウィーク子どもイベント 「子ども歴史クイズラリー」	4月27日～5月6日 参加人数 67人	湧水園内を歩いて回りクイズを解くイベント。参加した子どもたちが、ワークシートのヒントを頼りにクイズを解き、正解者には景品のオリジナルしおりを贈呈しました。
ゴールデンウィーク子どもイベント 「拓本体験」	5月3日 37人	和紙を瓦の上に置き、クーピーペンシルでこすり瓦の模様の文字などを浮き上がらせる方法を用いた拓本の体験を実施しました。
夏休み子ども向けイベント「昆虫缶バッジづくり」	7月27日・8月21日 41人	夏季企画展の展示と関連させ、昆虫をモチーフにした缶バッジを作成するワークショップを開催しました。昆虫のイラストのぬり絵、自分で昆虫の絵を描き色を塗るなど、オリジナルの缶バッジを作製しました。

●ふるさと文化財課		
事 業 名	事 業 名	事 業 名
夏休み子ども向けイベント「レプリカをつくろう」	8 月 24 日 23 人	武蔵国分寺跡資料館が所蔵している土偶や文字瓦などをシリコン樹脂の型に流し込み、固めた後に好きな色を塗りオリジナルカラーのレプリカを作成しました。
湧水園コンサート	11 月 4 日 101 人	古の武蔵国分寺を語り部が語りながら、篠笛等の演奏による創作組曲コンサートを開催しました。

●公民館事業			
事 業 名		実施日・参加者数等	事 業 内 容・目的 等
本多公民館	環境講座<ビンの中に小さな生態系をつくろう>	11 月（1 回） 参加者 41 人	ビンのアクアリウムを作る前に、生態系を学び、環境と命の大切さを知ってもらうため、講師による丁寧な説明の後、ビンのアクアリウムに水草などをレイアウトし、メダカを入れるなどしました。幅広い世代の参加があり、食物連鎖や生態系についての理解を促進しました。
	自然環境講座 〈こいがくぼこどもキャンパス「こくベジでピザを作ろう」〉	3 月（1 回） 参加者 22 人 （小学生親子 10 組）	「こくベジ」を切り口に国分寺市の農業について学ぶことを目的としています。令和 6 年度は、こくベジのいちごを実際に収穫し、それを具材として使用して親子でピザを作る講座を実施しました。収穫から調理の一連の作業を行うと同時に、収穫先の市内農家（中村農園）より、こくベジのこれまでの歩みや市内の農業の現状、食育についてなどを知る講義の時間も設けたことで、地元の農産物への関心や理解を深めることにもつなげることができました。
恋ヶ窪公民館	こいがくぼ園芸 〈寄せ植え教室 初級編/親子編〉	初級編（1 回）：1 月 参加者 11 人 親子編（1 回）：3 月 参加者 20 人	土や植物に触れることによる精神的な安らぎと、色鮮やかな花々が身の回りにあることで、日々の生活に潤いがもたらされるようになることを目的に、国分寺市鉢物研究会より講師を招き、冬季に咲き誇る複数の花々を自由に組み合わせ、一人ひとりで（親子編は親子で）大きな鉢に寄せ植えを体験する講座を実施しました。植物の構造や肥料、農薬等についての座学もあり、満足度の高い講座となりました。
	環境講座<もったいない 食品ロスを削減しよう>	11 月（1 回） 参加者 13 人	地域で活動する市廃棄物減量等推進委員会が講師となり、環境問題への関心を深め、自らの行動変容に繋げるため、また地域住民同士の交流と学び合いの機会を目的として実施しました。 国分寺市のごみ・資源物の収集状況の説明や食品ロスに関する DVD を視聴して、チェックシートで食品ロスの自己診断を行いました。食品ロス削減に自分達でできることをワークショップ形式で発表し、自分ごととして食品ロスを削減することへの意識を高めました。
光公民館			

●公民館事業

事業名		実施日・参加者数等	事業内容・目的等
もとまち公民館	まちの自然講座 〈秋の植物 実とたねのお はなし〉	8月（1回） 参加者 39 人	「花が咲いたら実ができる」という当たり前の知識から、市の花でもあるサツキを例に「花が咲いたあと、どんな実ができるのか」、花だけ、あるいは実だけを知っている植物について、その前後も含めた一連の植物の変化を観察する楽しさについて紹介がありました。その後、「（たねの）移動」について、講師撮影の動画で、どのような仕組みで植物が動くのかを学びました。移動の一例として、松ぼっくりが雨天時はたねが落ちないように松かさを閉じているという紹介があったため、公民館にあった松ぼっくりを水につけて、実際にかさがるのかの観察も行いました。
	農業体験講座 〈並木ファーマーズ〉	4月～3月（全 94 回） 参加者 29 人 延べ 1,755 人	地元で農業に携わり、地域のことに精通している農家の方を講師として農業に関する実技指導を受けながら、実際に受講者が作付け計画を立て、農地の畝づくりから育苗や播種、収穫、撤収まで協力して農作業をし、野菜づくりを行いました。育苗や播種などの時期や方法など、野菜の生育管理のための計画立案や作業も各野菜のウオッチャーが中心となって話し合いで決めて、作業工程の確認をしながら協力して農作業を行いました。並木公民館まつりやくぬぎ教室などの公民館事業にも参加しました。
並木公民館	子ども農業体験講座 〈みんなで楽しく農業体験～自然に学ぶ 地域で育つ～〉	6月～10月 （全 10 回） 参加者 16 人 延べ 126 人	小学生 2 年生～6 年生を対象に、野菜の播種、苗植え、収穫までの農業体験を行いました。 自分たちが普段食べている野菜が、「誰が」「どこで」「どのように」作られているかということ、体験を通じて学びました。実際に畑に入って野菜を育て、収穫する過程を経験することで、お店や食卓からだけでは知ることのできない野菜の実の付き方や葉の様子など野菜に対する知識や関心を高め、その日に実際に学んだことをグループごとに野菜新聞にまとめました。また、自ら農作物を収穫することで、野菜や果物に対する愛着が生まれ、食の楽しさを感じてもらうことを目的としました。さらに、家族と一緒にじゃがいもやブルーベリー、さつまいもの収穫体験もしました。農作業を通じ、農作物に限らず虫や土にも触れ、インターネットやゲームでは味わえない、自然の恵みや面白さを感じることができました。